

『人々のつながりに関する基礎調査』を用いた AYA 世代の社会的孤立・孤独に関する大規模観察研究

1. 研究の対象

令和3年,4年,5年に内閣府が実施した全国調査である『人々のつながりに関する基礎調査』に回答しているすべての回答者を対象とします。

2. 研究目的・方法

研究目的：『人々のつながりに関する基礎調査』のデータを用いて、日本における世代別（思春期若年成人(adolescent and young adult: 以下 AYA、15-39 歳)世代と非 AYA 世代）の社会的孤立・孤独の状況及び背景因子を記述し、孤立・孤独の関連要因を検討することにより AYA 世代の孤立・孤独の特徴を明らかにすることです。

研究方法：『人々のつながりに関する基礎調査』は統計法に基づき国が実施する一般統計調査で、全国の満16歳以上の20000人を調査対象として実施され、結果は内閣府で管理されています。本研究では、統計法に基づき内閣府に調査票情報（令和3年,4年,5年実施分）の二次利用申請を行い、調査票情報を入手後、解析を行います。

研究実施期間：研究許可日～2027年03月31日まで

本研究は、“RISTEX: SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム(社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築)”の一環としておこなわれており、上記公的研究費を受領しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では人々のつながりに関わる基礎調査で得られた匿名情報のみを扱いますので、個人の特定はできません。

情報：『人々のつながりに関する基礎調査』質問票の回答結果

試料：なし

4. 外部への試料・情報の提供

本研究は単機関研究であり、外部の機関への情報の提供はありません。

本研究終了後に、再度同様の情報を用いた新たな研究に用いる際には、内閣府への二次利用申請を再度行う必要があります。その際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成し研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手順を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（試料・情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

国立がん研究センターが参加する研究の公開情報については国立がん研究センターの公式ホームページより確認することができます。

<https://www.ncc.go.jp/jp/>

5 . 研究組織・研究責任者

研究機関

研究機関名	所属	研究者氏名
国立がん研究センター	がん対策研究所サバイバーシップ研究部	藤森 麻衣子 (研究責任者)
	がん対策研究所サバイバーシップ研究部	岡村 優子
	がん対策研究所サバイバーシップ研究部	小濱 京子
	がん対策研究所サバイバーシップ研究部	玄 安理
	がん対策研究所サバイバーシップ研究部	小澤 桂子
	がん対策研究所サバイバーシップ研究部	綾田 美紗姫
	がん対策研究所サバイバーシップ研究部	妹尾 友理
	がん対策研究所サバイバーシップ研究部	栗栖 健

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究に関する連絡先：

【研究事務局】

岡村 優子

国立がん研究センター がん対策研究所 サバイバーシップ研究部

〒104-0045

住所 東京都中央区築地 5-1-1

電話番号 03-3547-5201 (内線 3319)